

組合まつり in TOKYO



～中小企業の魅力発信！～

東京で開催された
「組合まつり in TOKYO」の様子を
レポートします！

「神奈川県家具工業組合 かなもく塾」が展覧

神奈川県からは、神奈川県家具工業組合 かなもく塾が展覧しました。横浜・元町は、明治より多くの外国人が訪れ、日本における洋家具発祥の地とされています。かなもく塾は、同組合の若手経営者と家具職人によって2009年に結成された集団で、2015年に発表したオリジナルブランド「横濱空學堂」を通して、「横濱三塔」をイメージした「三塔家具シリーズ」などを製作し注目を集めています。

行い、実際の製品は、家具製作1級技能士の資格を持つ職人が製作しており、「かなもく塾では、それぞれの得意分野を組み合わせ、技術を生かした付加価値の高い製品づくりを目指し、共同で製品を作ることで各組合員の強みの把握にも繋がっている。展示会等ではいつも高い評判を頂いており、問合せを受けることもあるので、こういった機会に多くの人に見てもらいたい」と話していました。



小安氏の説明を受ける森会長

今回は、その一つである「ロッキングチェア ジャックの塔」を展示しました。耐衝撃性が高く、イチロー選手のバットにも使われているホワイトアッシュ材を使用しており、「ジャックの塔」を模したデザインがクラシカルな雰囲気を演出しています。座面には高級感漂うベルベット生地が使われており、ブースを訪れた人たちは、実際に腰掛けてエレガントな座り心地を体感していました。同組合 事務局長 小安氏によると、企画立案やコンセプト作りを協力して

また、中小企業世界発信プロジェクトの事務局として公益財団法人東京都中小企業振興公社も展覧しており、プロジェクトの概要や中小企業支援策について紹介していました。同プロジェクトは、2020年のオリンピック・パラリンピックを契機としたビジネスチャンスをも日本全国の中小企業に波及させ、その優れた技術・製品等を世界に発信することを目的に、同団体をはじめとする都内の中小企業支援機関である東京商工会議所、東京都商工会議所連合会、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会及び東京都が連携して運営しています。支援策の中でも、主に東京2020大会等に係る官民の入札・調達情報を一元的に集約した受発注取引のプラットフォームである「ビジネスチャンス・ナビ2020」は、東京2020組織委員会の電子入札に参加できる唯一のサイトであり、全国の事業者が無料で登録・利用することができます。プロジェクトの事務局担当者によると、「オリンピック開催を見据えたプロジェクトではあるが、サイトについては2020年以降の活用も検討を始めている。都外の事業者の利用についてはまだ認知度が低いが、組織委員会公認の唯一のサイトなので、是非多くの事業者積極的に活用してもらいたい」とのことでした。